

令和2年9月17日

令和2年第3回定例会  
予算決算委員会

# 環境水道分科会資料

## 上下水道局

### <補正予算案件>

(1) 議第 196 号

令和2年度熊本市水道事業会計補正予算について ..... P1

(2) 議第 197 号

令和2年度熊本市下水道事業会計補正予算について ..... P6

### <決算案件>

(1) 議第 239 号

令和元年度熊本市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について ..... P14

(2) 議第 240 号

令和元年度熊本市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について ..... P22

(3) 議第 241 号

令和元年度熊本市工業用水道事業会計利益の処分及び決算の認定について ..... P30

(補足説明資料)

熊本市上下水道事業令和元年度（2019年度）取組報告について ..... 別冊

※当資料の頁番号には、予算決算委員会説明資料の頁番号を併記しています。



## 令和 2 年度熊本市水道事業会計補正予算

(総 則)

第 1 条 令和 2 年度熊本市水道事業会計の補正予算は、次に定めるところによる。

(収益的収入及び支出の補正)

第 2 条 予算第 3 条に定めた収益的収入及び支出の予定額を、次のとおり補正する。

(科 目)	収 入		(計)
	(補正前の額)	(補正額)	
第 1 款 水道事業収益	14,181,139千円	△ 2,443千円	14,178,696千円
第 1 項 営 業 収 益	13,224,598千円	△ 11,443千円	13,213,155千円
第 2 項 営 業 外 収 益	953,923千円	9,000千円	962,923千円

(科 目)	支 出		(計)
	(補正前の額)	(補正額)	
第 1 款 水道事業費用	11,400,712千円	5,705千円	11,406,417千円
第 1 項 営 業 費 用	10,572,525千円	△ 3,295千円	10,569,230千円
第 2 項 営 業 外 費 用	813,087千円	9,000千円	822,087千円

(資本的収入及び支出の補正)

第 3 条 予算第 4 条本文括弧書中「資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 7,216,217 千円は、減債積立金 1,096,570千円、過年度分損益勘定留保資金 5,578,673千円並びに当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 540,974千円」を「資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 7,254,774千円は、減債積立金 1,096,570千円、過年度分損益勘定留保資金 5,617,230千円並びに当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 540,974千円」に改め、資本的収入及び支出の予定額を、次のとおり補正する。

(科 目)	収 入		(計)
	(補正前の額)	(補正額)	
第 1 款 資本的収入	1,703,100千円	△ 38,557千円	1,664,543千円
第 3 項 負 担 金	170,100千円	△ 38,557千円	131,543千円

(他会計からの補助金の補正)

第4条 予算第10条に定めた一般会計からの補助金を、次のとおり補正する。

(科目)	(補正前の額)	(補正額)	(計)
(1) 補助金	73,597千円	9,000千円	82,597千円

熊本市長 大西一史

## 令和2年度9月補正予算

### 1. 総括

(単位：千円)

収 益 的 収 支	補正前の額 (A)	補 正 額 (B)	計 (A) + (B)
水 道 事 業 収 益	14,181,139	▲ 2,443	14,178,696
水 道 事 業 費 用	11,400,712	5,705	11,406,417
収 益 的 収 支 差 額	2,780,427	▲ 8,148	2,772,279

資 本 的 収 支	補正前の額 (A)	補 正 額 (B)	計 (A) + (B)
資 本 的 収 入	1,703,100	▲ 38,557	1,664,543
資 本 的 支 出	8,919,317	0	8,919,317
資 本 的 収 支 差 額	▲ 7,216,217	▲ 38,557	▲ 7,254,774

#### 資本的収支補てん財源の説明

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 7,254,774千円は、減債積立金 1,096,570千円、過年度分損益勘定留保資金 5,617,230千円並びに当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 540,974千円で補てんするものとする。

## 2. 収益的収支

(単位：千円)

款 項 目	補正前の額 (A)	補 正 額 (B)	計 (A) + (B)	備 考
水道事業収益 (a)	14,181,139	▲ 2,443	14,178,696	
営業収益	13,224,598	▲ 11,443	13,213,155	
負担金	556,569	▲ 11,443	545,126	一般会計負担金 消火栓維持管理負担金
営業外収益	953,923	9,000	962,923	
他会計補助金	40,597	9,000	49,597	災害救助法に基づく救助の実施に 対する一般会計繰入金 (県10/10財源)

款 項 目	補正前の額 (A)	補 正 額 (B)	計 (A) + (B)	備 考
水道事業費用 (b)	11,400,712	5,705	11,406,417	
営業費用	10,572,525	▲ 3,295	10,569,230	
総係費	959,573	▲ 3,295	956,278	水資源保全負担金
営業外費用	813,087	9,000	822,087	
雑支出	3,000	9,000	12,000	令和2年7月豪雨災害支援経費 応急給水活動経費

収益的収支差額 (a) - (b)	2,780,427	▲ 8,148	2,772,279	
----------------------	-----------	---------	-----------	--

## 3. 資本的収支

(単位：千円)

款 項 目	補正前の額 (A)	補 正 額 (B)	計 (A) + (B)	備 考
資本的収入	1,703,100	▲ 38,557	1,664,543	
負担金	170,100	▲ 38,557	131,543	
他会計負担金	70,100	▲ 38,557	31,543	一般会計負担金 消火栓新設負担金
資本的収支差額	▲ 7,216,217	▲ 38,557	▲ 7,254,774	

(単位：千円)

	補正前	補正額	財源内訳			
			国県	企業債	一般会計繰入	局財源
<b>〔令和2年7月豪雨災害支援経費〕 応急給水活動経費</b>	0	9,000	0	0	9,000	0
					県10/10財源	
<b>応急給水活動経費</b>	0	9,000	0	0	9,000	0
(1) 旅費等 5,500千円						
(2) 給水袋購入経費 3,500千円						

**1. 活動内容**

人吉市他6市町村における給水車を使用した飲料水の供給(応急給水活動)

**2. 活動経緯**

令和2年7月3日からの豪雨により、熊本県南部に位置する多くの市町村の水道施設において甚大な被害が発生。給水停止(断水)状態となった市町村から日本水道協会熊本県支部長である熊本市に応急給水の派遣要請があった。

被災した市町村からの要請を受け、本市が派遣した内容は以下のとおり。

- 7/4 人吉市及び芦北町から派遣要請  
⇒人吉市:11人派遣(給水車3台・支援車1台)、芦北町:11人派遣(給水車3台・支援車1台)
- 7/5 山江村及び相良村から熊本県を通じて派遣要請  
⇒山江村:5人派遣(給水車1台・支援車1台)、相良村:6人派遣(給水車2台・支援車1台)
- 7/6 八代市及びあさぎり町から派遣要請  
⇒八代市:8人派遣(給水車2台・支援車1台)、あさぎり町:6人派遣(給水車2台・支援車1台)
- 7/18 球磨村から熊本県を通じて派遣要請  
⇒球磨村:2人派遣(給水車1台)
- 8/5 水道施設の復旧等により、本市職員の派遣終了  
(給水車は八代市及び球磨村に貸与中)

**3. 派遣期間及び派遣者数**

派遣先	派遣期間	日数	延べ人数
人吉市	7/4(土)、5(日)、7/12(日)~7/27(月)	18日間	134人
芦北町	7/4(土)~7/9(木)、7/13(月)	7日間	60人
山江村	7/6(月)~7/16(木)	11日間	41人
相良村	7/6(月)	1日間	6人
八代市	7/7(火)~8/2(日)	27日間	239人
あさぎり町	7/7(火)~7/15(水)	9日間	91人
球磨村	7/18(土)~8/5(水)	19日間	72人
合計			643人

## 令和2年度熊本市下水道事業会計補正予算

(総 則)

第1条 令和2年度熊本市下水道事業会計の補正予算は、次に定めるところによる。

(収益的収入及び支出の補正)

第2条 予算第3条に定めた収益的収入及び支出の予定額を、次のとおり補正する。

(科 目)	収 入		(計)
	(補正前の額)	(補正額)	
第1款 下水道事業収益	20,836,906千円	△ 142,049千円	20,694,857千円
第1項 営業収益	12,454,393千円	△ 23,486千円	12,430,907千円
第2項 営業外収益	8,362,747千円	△ 118,563千円	8,244,184千円

(科 目)	支 出		(計)
	(補正前の額)	(補正額)	
第1款 下水道事業費用	18,819,455千円	1,520千円	18,820,975千円
第2項 営業外費用	2,353,225千円	1,520千円	2,354,745千円

(資本的収入及び支出の補正)

第3条 予算第4条本文括弧書中「資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 9,421,541千円は、過年度分損益勘定留保資金 8,718,851千円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 702,690千円」を「資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 9,414,834千円は、過年度分損益勘定留保資金 7,495,829千円、当年度分損益勘定留保資金 1,224,000千円並びに当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 695,005千円」に改め、資本的収入及び支出の予定額を、次のとおり補正する。

(科 目)	収 入		(計)
	(補正前の額)	(補正額)	
第1款 資本的収入	12,539,807千円	6,707千円	12,546,514千円
第4項 補助金	4,959,300千円	6,707千円	4,966,007千円

(科 目)	支 出		(計)
	(補正前の額)	(補正額)	
第1款 資本的支出	21,961,348千円	0千円	21,961,348千円
第2項 建設改良費(雨水)	453,530千円	0千円	453,530千円

(債務負担行為の補正)

第4条 予算第5条に定めた債務負担行為の事項、期間及び限度額を、次のとおり補正する。

(変更分)

(単位:千円)

事 項	変 更 前		変 更 後	
	期 間	限 度 額	期 間	限 度 額
公共下水道築造事業(雨水) (令和2年度施設分)	令和3年度～ 令和4年度	82,000	令和3年度～ 令和4年度	131,000

(他会計からの補助金の補正)

第5条 予算第10条に定めた一般会計からの補助金を、次のとおり補正する。

(科 目)	(補正前の額)	(補正額)	(計)
(1) 補 助 金	4,725,494千円	△ 111,856千円	4,613,638千円

熊 本 市 長 大 西 一 史

# 令和2年度9月補正予算

## 1. 総括

(単位：千円)

収益的収支	補正前の額 (A)	補正額 (B)	計 (A) + (B)
下水道事業収益	20,836,906	▲ 142,049	20,694,857
下水道事業費用	18,819,455	1,520	18,820,975
収益的収支差額	2,017,451	▲ 143,569	1,873,882

資本的収支	補正前の額 (A)	補正額 (B)	計 (A) + (B)
資本的収入	12,539,807	6,707	12,546,514
資本的支出	21,961,348	0	21,961,348
資本的収支差額	▲ 9,421,541	6,707	▲ 9,414,834

資本的収支補てん財源の説明

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 9,414,834千円は、過年度分損益勘定留保資金 7,495,829千円、当年度分損益勘定留保資金 1,224,000千円並びに当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 695,005千円で補てんするものとする。

## 2. 収益的収支

(単位：千円)

款 項 目	補正前の額 (A)	補正額 (B)	計 (A) + (B)	備 考
下水道事業収益 (a)	20,836,906	▲ 142,049	20,694,857	
営業収益	12,454,393	▲ 23,486	12,430,907	
負担金	1,037,553	▲ 23,486	1,014,067	一般会計負担金 雨水処理負担金
営業外収益	8,362,747	▲ 118,563	8,244,184	
他会計補助金	2,923,034	▲ 118,563	2,804,471	一般会計補助金 被災地域の応援等に対する一般会 計繰入金（特別交付税8/10財源） +1,216 特別措置債償還利子 ▲25,678 合特法関連経費負担金 ▲72,653

款 項 目	補正前の額 (A)	補正額 (B)	計 (A) + (B)	備 考
下水道事業費用 (b)	18,819,455	1,520	18,820,975	
営業外費用	2,353,225	1,520	2,354,745	
雑支出	2,875	1,520	4,395	令和2年7月豪雨災害支援経費 下水道施設復旧支援経費

収益的収支差額 (a) - (b)	2,017,451	▲ 143,569	1,873,882	
----------------------	-----------	-----------	-----------	--

### 3. 資本的収支

(単位：千円)

款 項 目	補正前の額 (A)	補 正 額 (B)	計 (A) + (B)	備 考
資本的収入 (c)	12,539,807	6,707	12,546,514	
補助金	4,959,300	6,707	4,966,007	
他会計補助金	1,802,460	6,707	1,809,167	特別措置債償還元金

款 項 目	補正前の額 (A)	補 正 額 (B)	計 (A) + (B)	備 考
資本的支出 (d)	21,961,348	0	21,961,348	
建設改良費 (雨水)	453,530	0	453,530	
管渠布設費 (雨水)	192,000	▲ 79,000	113,000	鶯川第2排水区関連経費
築造総務費 (雨水)	133,864	72,300	206,164	井芹川第8・10排水区用地補償経費
固定資産購入費 (雨水)	127,300	6,700	134,000	井芹川第8・10排水区用地取得経費

資本的収支差額 (c) - (d)	▲ 9,421,541	6,707	▲ 9,414,834	
----------------------	-------------	-------	-------------	--

### 4. 債務負担行為

(変更分)

予算書 P 26

(単位：千円)

事 項	期 間	限 度 額
1 公共下水道築造事業 (雨水) (令和2年度施設分)	令和3年度～令和4年度	131,000 (82,000)

(単位：千円)

	補正前	補正額	財源内訳			
			国県	企業債	一般会計繰入	局財源
<b>[令和2年7月豪雨災害支援経費] 下水道施設復旧支援経費</b>	0	1,520	0	0	1,216	304
<b>下水道施設復旧支援経費</b>	0	1,520	0	0	1,216	304
(1)旅費等 747千円						
(2)薬品費 773千円						

1. 活動内容

人吉市内での、浸水地区における下水道管路の被害状況調査、下水処理場及び中継ポンプ場の被害状況調査、調査本部における対応指導、資機材の提供及び貸与

2. 活動経緯

令和2年7月3日からの豪雨により、人吉市内の下水道施設において甚大な被害が発生。人吉市からの支援要請を受け、本市が派遣した内容は以下のとおり。

- 7/7 人吉市から下水道施設被災による支援の要請
- 7/8 第1陣（管路班:5人、施設班:5人）を派遣
- 7/9 応援資機材として、固形塩素剤及び仮設ポンプを人吉市に搬入  
人吉市から追加支援の要請
- 7/10 第2陣（管路班:6人）を派遣
- 7/12 下水処理場における簡易処理の開始  
施設班の活動終了（仮設ポンプは貸与中）
- 7/13 浸水地区における下水道管路の被害状況調査の完了  
管路班の活動終了

3. 派遣期間及び派遣者数

		派遣期間	活動人員
第1陣	管路班	7/8（水）～7/13（月）	5人
	施設班	7/8（水）～7/12（日）	5人
第2陣	管路班	7/10（金）～7/13（月）	6人
仮設ポンプ・固形塩素剤搬入		7/9（木）	3人
合 計		派遣日数 6日間	
		派遣者数19人 延べ人数 82人	

(単位：千円)

	補正前	補正額	財源内訳			
			国県	企業債	一般会計繰入	局財源
<b>浸水対策</b>	<b>452,196</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>重点6地区浸水対策経費</b>	<b>362,196</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
(1) 井芹川第8・10排水区整備 (H24-R5) 西区上熊本、花園付近 ポンプ場新設用地購入・移転補償	210,000	79,000	39,500	39,500	0	0
〔債務負担行為補正〕【再掲】						
事 項		期 間	限 度 額			
1 公共下水道築造事業（雨水） （令和2年度施設分）		令和3年度～令和4年度	131,000 (82,000)			
(2) 鶯川第2排水区整備 (H26-R5) 東区桜木・花立付近 詳細設計業務委託、模型実験	90,196	▲ 79,000	▲ 39,500	▲ 39,500	0	0

1. 概要

熊本市下水道浸水対策計画に基づき、特に被害が大きく早急に対策を実施すべき地区（重点6地区）の一つである、井芹川第8・10排水区（流域面積150.8ha）において、浸水原因である井芹川への排水能力不足解消のため新規ポンプ場の建設を行う。

また、排水能力の増強だけでは対応できない雨水については、貯留施設を建設する。

新規ポンプ場及び貯留施設を建設することで、60mm/hの降雨まで対応が可能となり、同排水区の浸水被害の軽減を図るもの。

2. 補正内容

井芹川第8・10排水区におけるポンプ場新設用地の取得に係る用地補償費について、未了であった補償物件の詳細調査が完了し、公共用地の取得に伴う損失補償基準に基づき、用地補償費の再算定を行った結果、費用が増加したもの。

(単位：千円)

		R2	R3	R4	計
用地	当初	90,300	0	48,700	139,000
	補正後	97,000	0	45,000	142,000
補償	当初	119,700	0	33,300	153,000
	補正後	192,000	0	86,000	278,000
計	当初	210,000	0	82,000	292,000
	補正後	289,000	0	131,000	420,000
補正額→		79,000		49,000	128,000

令和元年度

利益の処分

及び

決算の状況

熊本市上下水道局

## 利益の処分について

令和元年度の決算に伴う剰余金(未処分利益剰余金)を、議会の議決により処分を行うもの。

### 《水道事業会計》

(単位：円)

当年度純利益	2,730,328,775
前年度繰越利益剰余金	0
その他未処分利益剰余金変動額	1,794,239,630
当年度未処分利益剰余金	4,524,568,405
議会の議決による処分	
減債積立金への積立	1,846,777,274
自己資本金に組入	2,677,791,131
繰越利益剰余金	0

当年度未処分利益剰余金4,524,568,405円のうち、1,846,777,274円を減債積立金へ積み立て、2,677,791,131円を自己資本金に組み入れるものとする。

### 《下水道事業会計》

(単位：円)

当年度純利益	2,129,418,074
前年度繰越利益剰余金	2,600,000,000
当年度未処分利益剰余金	4,729,418,074
議会の議決による処分	
減債積立金への積立	2,600,000,000
自己資本金に組入	2,129,418,074
繰越利益剰余金	0

当年度未処分利益剰余金4,729,418,074円のうち、26億円を減債積立金に積み立て、2,129,418,074円を自己資本金に組み入れるものとする。

### 《工業用水道事業会計》

(単位：円)

当年度純利益	468,388
前年度繰越利益剰余金	0
当年度未処分利益剰余金	468,388
議会の議決による処分	
減債積立金への積立	0
自己資本金に組入	468,388
繰越利益剰余金	0

当年度純利益468,388円を自己資本金に組み入れるものとする。

## ■令和元年度 水道事業会計決算

### 1. 業務の状況

指標名	単位	定義	令和元年度	平成30年度	増減	伸び率 (%)
1 給水人口	人	水道により給水を受けている人口 (住民基本台帳に基づく)	701,516	700,344	1,172	0.2
2 普及率	%	給水人口/行政区域内人口	95.9	95.7	0.2	—
3 年間総配水量(A)	m <sup>3</sup>	配水池などから配水された水量	79,709,537	80,608,326	△ 898,789	△ 1.1
4 年間有収水量(B)	m <sup>3</sup>	料金収入の対象となった水量	70,161,394	70,702,534	△ 541,140	△ 0.8
5 有収率 (B/A)	%	年間有収水量/年間総配水量	88.0	87.7	0.3	—

### 2. 収益的収支の状況

(単位：千円・税抜き)

科目	年度	令和元年度		平成30年度		増減	
		金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	伸び率 (%)
<b>1 事業収益</b>		<b>13,316,093</b>	<b>100.0</b>	<b>13,475,515</b>	<b>100.0</b>	<b>△ 159,422</b>	<b>△ 1.2</b>
(1) 料金収入		11,591,947	87.1	11,694,130	86.8	△ 102,183	△ 0.9
(2) 一般会計負担金・補助金		77,194	0.6	86,198	0.6	△ 9,004	△ 10.4
(3) その他収益		1,477,920	11.1	1,377,188	10.2	100,732	7.3
(4) 受託工事収益・特別利益		169,032	1.2	317,800	2.3	△ 148,768	△ 46.8
(5) 特別利益(災害)		0	0.0	199	0.1	△ 199	皆減
<b>2 事業費用</b>		<b>10,585,765</b>	<b>100.0</b>	<b>10,855,268</b>	<b>100.0</b>	<b>△ 269,503</b>	<b>△ 2.5</b>
(1) 職員給与費		1,612,751	15.2	1,715,703	15.8	△ 102,952	△ 6.0
うち退職給付費		85,097	0.8	129,296	1.2	△ 44,199	△ 34.2
うち退職給付費以外		1,527,654	14.4	1,586,407	14.6	△ 58,753	△ 3.7
(2) 維持管理費		3,562,973	33.7	3,798,222	35.0	△ 235,249	△ 6.2
①動力費		694,977	6.6	703,612	6.5	△ 8,635	△ 1.2
②薬品費		17,930	0.2	16,769	0.2	1,161	6.9
③修繕および材料費		473,388	4.5	477,590	4.4	△ 4,202	△ 0.9
④委託料		1,194,920	11.3	1,233,763	11.3	△ 38,843	△ 3.1
⑤その他		1,181,758	11.1	1,366,488	12.6	△ 184,730	△ 13.5
(3) 支払利息		515,201	4.9	548,977	5.1	△ 33,776	△ 6.2
(4) 減価償却費		4,683,666	44.2	4,616,212	42.5	67,454	1.5
(5) 受託工事費・特別損失		211,174	2.0	176,154	1.6	35,020	19.9
<b>3 当年度純利益</b>		<b>2,730,328</b>		<b>2,620,247</b>		<b>110,081</b>	

## 3. 資本的収支の状況

(単位：千円・税込み)

科目	年度	令和元年度		平成30年度		増減	
		金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	伸び率 (%)
<b>1 資本的収入</b>		<b>2,076,181</b>	<b>100.0</b>	<b>3,296,494</b>	<b>100.0</b>	<b>△ 1,220,313</b>	<b>△ 37.0</b>
(1) 企業債		1,300,000	62.6	1,697,200	51.5	△ 397,200	△ 23.4
(2) 国(県)補助金		0	0.0	817,656	24.8	△ 817,656	皆減
(3) 一般会計補助金		30,845	1.5	29,630	0.9	1,215	4.1
(4) 負担金		169,618	8.1	143,836	4.3	25,782	17.9
①消火栓新設負担金		41,838	2.0	40,128	1.2	1,710	4.3
②工事負担金		127,780	6.1	103,708	3.1	24,072	23.2
(5) 加入金		575,652	27.7	606,657	18.4	△ 31,005	△ 5.1
(6) 固定資産売却代金		66	0.1	1,515	0.1	△ 1,449	△ 95.6
<b>2 資本的支出</b>		<b>7,517,455</b>	<b>100.0</b>	<b>9,456,414</b>	<b>100.0</b>	<b>△ 1,938,959</b>	<b>△ 20.5</b>
(1) 建設改良費		5,713,542	76.0	7,661,181	81.0	△ 1,947,639	△ 25.4
①施設改良費		488,656	6.5	651,707	6.9	△ 163,051	△ 25.0
②拡張費		226,307	3.0	169,664	1.8	56,643	33.4
③第6次拡張事業費		1,543,743	20.5	1,809,007	19.1	△ 265,264	△ 14.7
④水道施設整備費		3,329,796	44.3	3,156,555	33.4	173,241	5.5
⑤リース債務支払額		116,768	1.6	102,047	1.1	14,721	14.4
⑥災害復旧費		8,272	0.1	1,772,201	18.7	△ 1,763,929	△ 99.5
(2) 企業債償還金		1,794,240	23.9	1,795,233	19.0	△ 993	△ 0.1
(3) 補助金返還金		9,673	0.1	0	0.0	9,673	皆増
<b>3 資本的収支</b>		<b>△ 5,441,274</b>		<b>△ 6,159,920</b>		<b>718,646</b>	

補てん財源	5,441,274	6,159,920
(1) 消費税資本的収支調整額	387,575	417,185
(2) 減債積立金	1,794,240	1,795,233
(3) 損益勘定留保資金	3,259,459	3,947,502

## 4. 企業債残高の状況

(単位：千円)

	令和元年度	平成30年度	増減	
企業債残高	33,140,832	33,635,071	△ 494,239	△ 1.5%

## ■令和元年度 水道事業会計決算の状況

### 1 収益的収支の状況 (単位:千円 税抜き) (前年度金額

収入総額 13,316,093 ( 13,475,515 ▲1.2% )

87.1%
料金収入 11,591,947

支出総額 10,585,765 ( 10,855,268 ▲2.5% )

15.2%	33.7%	4.9%	
職員給与費 1,612,751 (1,715,703 ▲6.0%)	維持管理費 3,562,973(3,798,222 ▲6.2%)		

↑  
支払利息  
515,201(548,977 ▲6.2%)

### 2 資本的収支の状況 (単位:千円 税込み) (前年度金額

収入総額 2,076,181 ( 3,296,494 ▲37.0% )

62.6%	27.7%	← 9.7%	
企業債 1,300,000 (1,697,200 ▲23.4%)		補助金等 200,529 (992,637 ▲79.8%)	
↑ 加入金	不足額 5,441,274		
33.0%	67.0%		
減債積立金 1,794,240	損益勘定留保資金等 3,647,034		

支出総額 7,517,455 ( 9,456,414 ▲20.5% )

76.0%	
建設改良費 5,713,542(7,661,181 ▲25.4%)	企業債償還金 1,794,240

### 3 その他 (単位:千円) (前年度金額 増減率)

企業債残高 33,140,832 ( 33,635,071 ▲1.5% ▲ 494,239 )

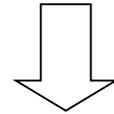
増減率)

	12.9%
(11,694,130 ▲0.9%)	その他の収益 1,724,146 (1,781,385 ▲3.2%)

2.0% ↓

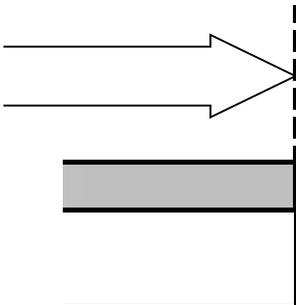
44.2%		<b>当年度純利益2,730,328</b> <b>(2,620,247 4.2%増)</b>
減価償却費 4,683,666(4,616,212 1.5%増)		

↑  
受託工事費等  
211,174(176,154 19.9%増)



増減率)

(案) 議会の議決を経て、当年度純利益の 2,730,328千円のうち、1,846,777千円を減債積立金に積み立て、883,551千円を自己資本金に組み入れる。



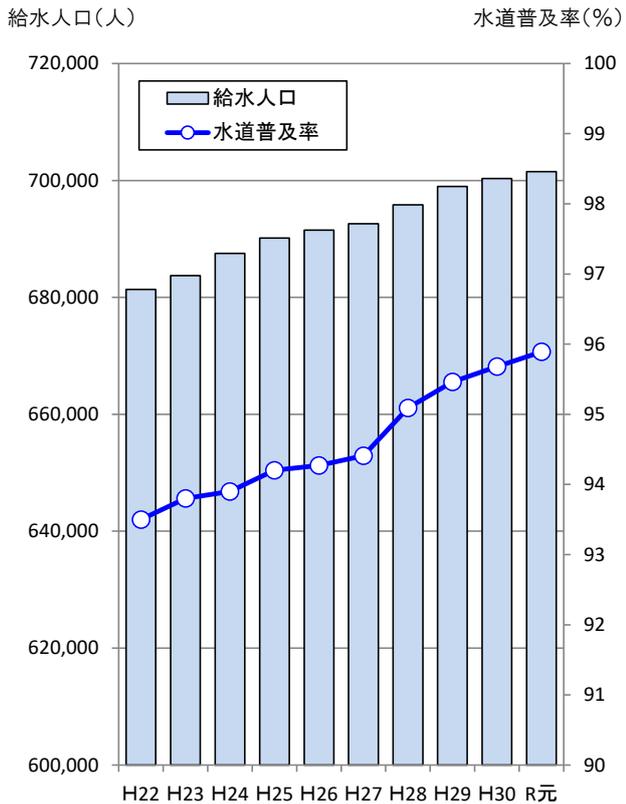
(脚注)  
損益勘定留保資金とは、収益的支出のうち現金の支出を伴わない費用の一部(減価償却費、固定資産除却費など)

23.9%	← 0.1%
(1,795,233 ▲0.1%)	補助金返還金 9,673 (0 皆増)

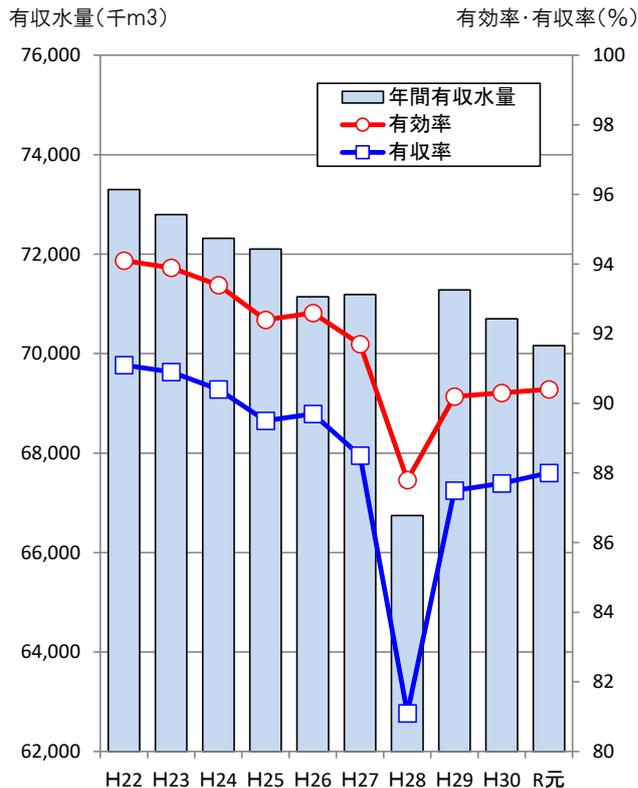
# ■水道事業会計の決算推移

## 1. 事業推移

(1) 給水人口と水道普及率の推移

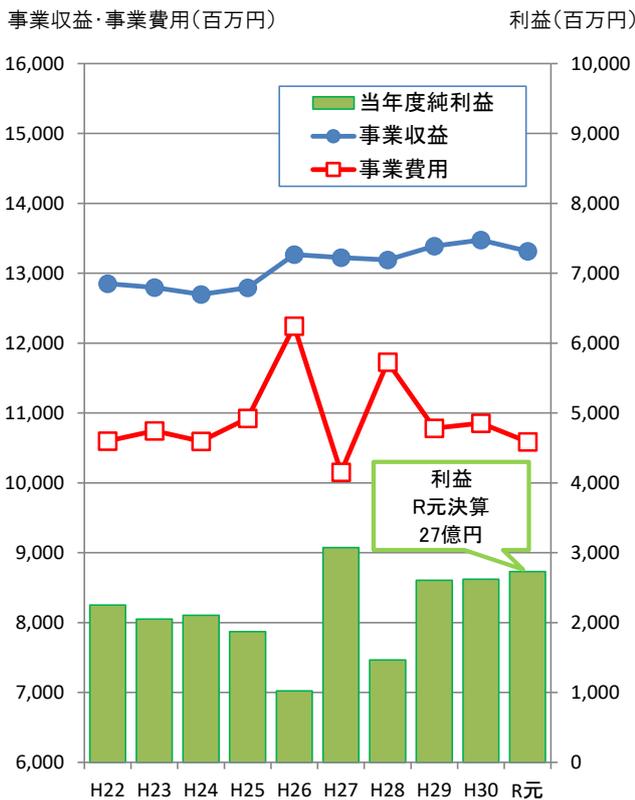


(2) 有収水量・有効率・有効率の推移

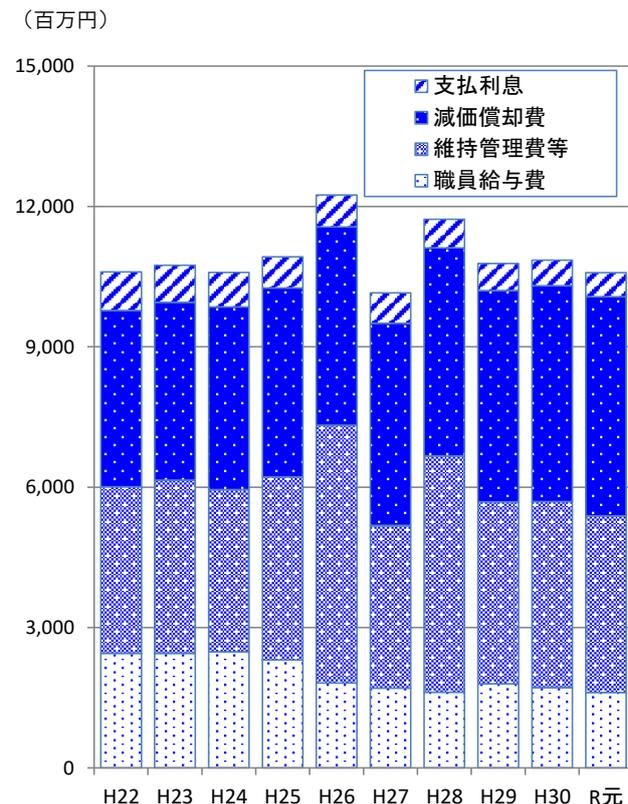


## 2. 事業収益と事業費用の推移

(1) 事業収益と事業費用の推移



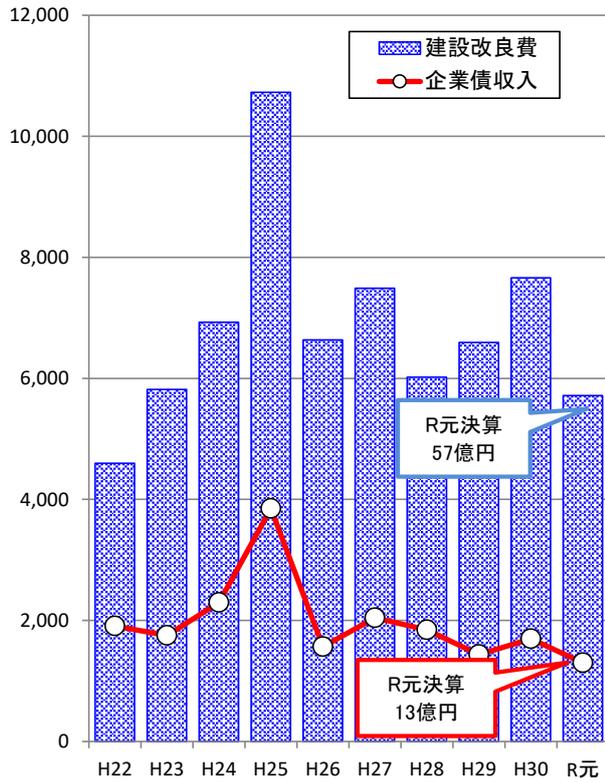
(2) 性質別費目の推移



### 3.建設改良費と企業債の推移

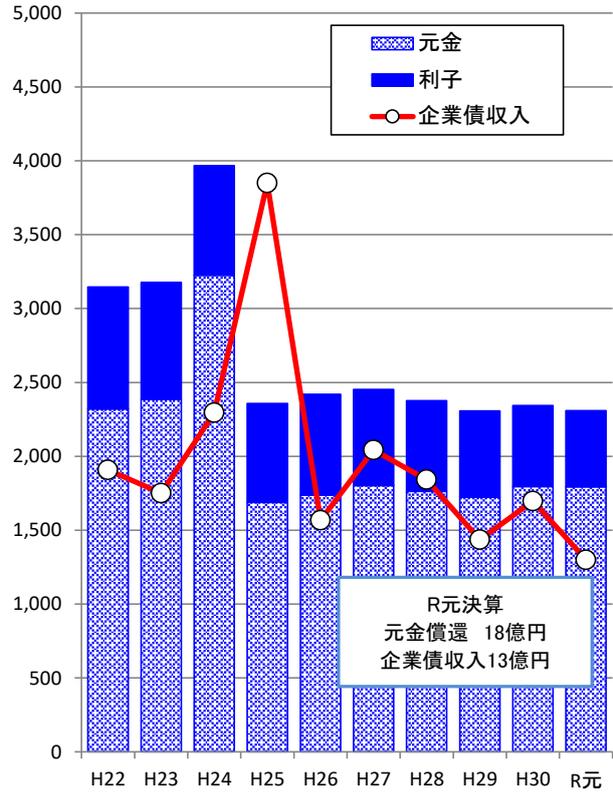
#### (1)建設改良費と企業債収入

(百万円)



#### (2)企業債償還の推移

(百万円)



#### (3)企業債残高の推移

企業債残高(百万円)

繰上償還(百万円)



# 令和元年度 水道事業会計 主要事業

(単位：千円、税込み)

				事業費
<b>水道施設整備事業</b>				<b>3,329,796</b>
事業期間	平成21年度～令和3年度	総事業費	約326億円	
事業目的	老朽化した管路及び施設の更新と耐震化			
事業進捗	耐震管更新延長 (実績) / 計画延長 令和元年度末 81.4% 172.7km/212.2km			
1	施設の更新			721,083
2	基幹管路の更新【整備延長】 L=約1.0km			901,891
3	老朽管の更新【整備延長】 L=約15.6km			1,596,639
4	人件費等			110,183
<b>第6次拡張事業</b>				<b>1,543,743</b>
事業期間	平成22年度～令和10年度	総事業費	約430億円	
事業目的	旧簡易水道の統合と市全域での施設・管路の機能強化			
事業進捗	耐震管布設(未普及地区含む)延長 (実績) / 計画延長 令和元年度末 69.6% 262.9km/377.6km			
1	合併町における配水管等の布設 L=約13.4km			779,427
2	基幹管路の新設			40,044
3	施設の機能強化			446,497
4	その他の配水管の布設等 【整備延長】 L=約1.5km			206,187
5	人件費等			71,588

## <新市基本計画進捗状況 令和元年度決算>

	計画総額A	計画対象投資B	進捗率B/A	その他投資額C	総合計D(B+C)
城南	8,100,000	7,063,255	87.2%	199,560	7,262,815
植木	3,800,000	6,166,984	162.3%	429,424	6,596,408
富合	1,797,000	2,818,091	156.8%	1,295,451	4,113,542

※富合町はH27年度未完了・植木町はH28年度未完了

働き方改革の推進 (収益的収支に係る経費)		4,853
1 RPA(※)等導入効果検証業務		4,853
上下水道総合管理システムを利用した、ソフトウェアロボットによる使用開始届及び口座振替依頼書等の登録自動化導入の検証 (※)RPA:Robotics Process Automation		
環境局と連携した地下水を育む取組 (収益的収支に係る経費)		66,646
1 水源かん養林整備事業費負担金		11,730
2 白川中流域水田かん養事業費負担金		19,715
3 公益財団法人くまもと地下水財団法人		23,251
4 硝酸性窒素削減対策事業費負担金		10,000
5 水道水源保全奨励金		1,950

## ■令和元年度 下水道事業会計決算

### 1. 業務の状況

指標名	単位	定義	令和元年度	平成30年度	増減	伸び率 (%)
1 処理区域内人口	人	公共下水道により下水を排除することができる区域内の人口	657,885	656,907	978	0.1
2 普及率	%	処理区域内人口/行政区域内人口	89.9	89.7	0.2	—
3 水洗化率	%	水洗化戸数/処理区域内戸数 (処理区域内の接続率)	97.3	97.3	0.0	—
4 汚水処理水量(A)	m <sup>3</sup>	汚水を処理した水量	85,422,253	85,615,823	△ 193,570	△ 0.2
5 年間有収水量(B)	m <sup>3</sup>	料金収入の対象となった処理水量	71,800,777	72,366,941	△ 566,164	△ 0.8
6 汚水有収率(B/A)	%	年間有収水量/年間汚水処理水量	84.1	84.5	△ 0.4	—

### 2. 収益的収支の状況

(単位：千円・税抜き)

科目	年度	令和元年度		平成30年度		増減	
		金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	伸び率 (%)
<b>1 事業収益</b>		<b>19,972,090</b>	<b>100.0</b>	<b>20,374,527</b>	<b>100.0</b>	<b>△ 402,437</b>	<b>△ 2.0</b>
(1) 下水道使用料		10,393,230	52.0	10,521,225	51.6	△ 127,995	△ 1.2
(2) 一般会計負担金		1,027,095	5.1	1,062,496	5.2	△ 35,401	△ 3.3
(3) 他会計補助金		3,007,749	15.1	3,151,937	15.5	△ 144,188	△ 4.6
(4) その他		5,544,016	27.8	5,638,869	27.7	△ 94,853	△ 1.7
<b>2 事業費用</b>		<b>17,842,672</b>	<b>100.0</b>	<b>18,196,165</b>	<b>100.0</b>	<b>△ 353,493</b>	<b>△ 1.9</b>
(1) 職員給与費		1,055,416	5.9	1,185,303	6.5	△ 129,887	△ 11.0
うち退職給付費		0	0.0	39,309	0.2	△ 39,309	皆減
うち退職給付費以外		1,055,416	5.9	1,145,994	6.3	△ 90,578	△ 7.9
(2) 維持管理費		4,490,703	25.2	4,536,823	24.9	△ 46,120	△ 1.0
①動力費		328,866	1.8	529,130	2.9	△ 200,264	△ 37.8
②薬品費		50,098	0.3	47,788	0.2	2,310	4.8
③修繕および材料費		444,882	2.5	524,738	2.9	△ 79,856	△ 15.2
④流域下水道管理負担金		454,294	2.5	456,653	2.5	△ 2,359	△ 0.5
⑤委託料		2,062,889	11.6	1,669,010	9.2	393,879	23.6
⑥その他		1,149,674	6.5	1,309,504	7.2	△ 159,830	△ 12.2
(3) 支払利息		2,114,569	11.8	2,317,329	12.7	△ 202,760	△ 8.7
(4) 減価償却費		10,132,282	56.8	10,112,893	55.6	19,389	0.2
(5) 特別損失		49,702	0.3	43,817	0.3	5,885	13.4
<b>3 当年度純利益</b>		<b>2,129,418</b>		<b>2,178,362</b>		<b>△ 48,944</b>	

## 3. 資本的収支の状況

(単位：千円・税込み)

科目	年度	令和元年度		平成30年度		増減	
		金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	伸び率 (%)
<b>1 資本的収入</b>		<b>15,407,162</b>	<b>100.0</b>	<b>14,943,134</b>	<b>100.0</b>	<b>464,028</b>	<b>3.1</b>
(1) 企業債		8,794,900	57.1	7,449,300	49.9	1,345,600	18.1
(2) 国庫補助金		4,831,803	31.3	5,725,863	38.3	△ 894,060	△ 15.6
(3) 他会計補助金		1,658,436	10.7	1,673,696	11.2	△ 15,260	△ 0.9
(4) 負担金		122,001	0.8	94,275	0.6	27,726	29.4
(5) 固定資産売却代金		22	0.1	0	0.0	22	皆増
<b>2 資本的支出</b>		<b>22,145,754</b>	<b>100.0</b>	<b>22,451,611</b>	<b>100.0</b>	<b>△ 305,857</b>	<b>△ 1.4</b>
(1) 建設改良費		13,268,513	59.9	13,241,702	59.0	26,811	0.2
① 管渠布設費		8,227,898	37.2	6,658,025	29.7	1,569,873	23.6
② ポンプ場築造費		234,596	1.0	337,615	1.5	△ 103,019	△ 30.5
③ 処理場築造費		2,580,489	11.6	2,374,697	10.6	205,792	8.7
④ 建設負担金		62,310	0.3	31,627	0.1	30,683	97.0
⑤ 固定資産購入費		47,270	0.2	50,807	0.2	△ 3,537	△ 7.0
⑥ 築造総務費		639,049	2.9	493,088	2.2	145,961	29.6
⑦ リース債務支払額		15,750	0.1	11,482	0.1	4,268	37.2
⑧ 災害復旧費		1,461,151	6.6	3,284,361	14.6	△ 1,823,210	△ 55.5
(2) 企業債償還金		8,877,241	40.1	9,209,909	41.0	△ 332,668	△ 3.6
<b>※3 資本的収支</b>		<b>△ 6,814,052</b>		<b>△ 7,508,477</b>		<b>694,425</b>	

※3 資本的収支の額は、資本的収入額のうち翌年度へ繰り越される支出の財源に充当する額75,460千円を除いたため、収入額と支出額の差とは一致しない。

補てん財源	6,814,052	7,508,477
(1) 消費税資本的収支調整額	556,896	459,986
(2) 損益勘定留保資金	6,257,156	7,048,491

## 4. 企業債残高の状況

(単位：千円)

	令和元年度	平成30年度	増減	
企業債残高	134,312,534	134,394,875	△ 82,341	△ 0.1%

## ■令和元年度 下水道事業会計決算の状況

### 1 収益的収支の状況 (単位:千円 税抜き) (前年度金額)

収入総額 19,972,090 ( 20,374,527 ▲2.0% )

52.0%	
下水道使用料 10,393,230 (10,521,225 ▲1.2%)	一般会計負担金 4,034,844

支出総額 17,842,672 ( 18,196,165 ▲1.9% )

5.9%	25.2%	11.8%	
職員給与費	維持管理費	支払利息	減価償却費
↑	↑	↑	
1,055,416 (1,185,303 ▲11.0%)	4,490,703 (4,536,823 ▲1.0%)	2,114,569 (2,317,329 ▲8.7%)	

### 2 資本的収支の状況 (単位:千円 税込み) (前年度金額)

収入総額 15,407,162 ( 14,943,134 3.1%増 )

57.1%	42.1%
企業債 8,794,900 (7,449,300 18.1%増)	補助金 6,490,239 (7,399,559 ▲12.3%)

支出総額 22,145,754 ( 22,451,611 ▲1.4% )

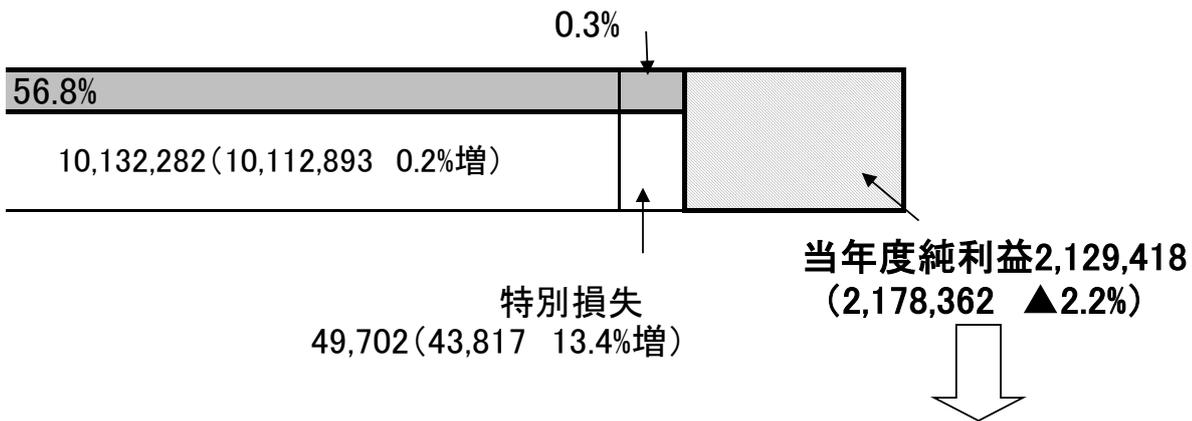
59.9%
建設改良費 13,268,513 (13,241,702 0.2%増)

### 3 その他 (単位:千円) (前年度金額 増減率)

企業債残高 134,312,534 ( 134,394,875 ▲0.1% ▲ 82,341 )

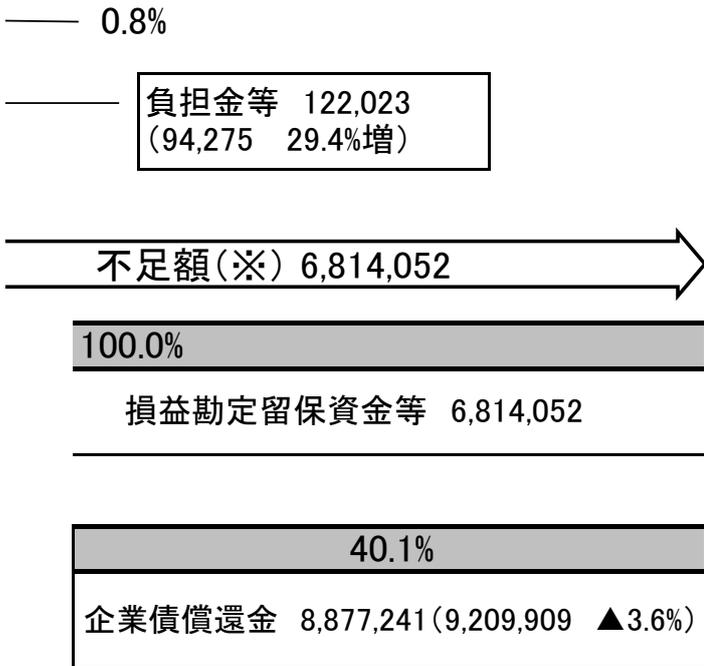
増減率)

20.2%	27.8%
・補助金(4,214,433 ▲4.3%)	その他の収益 5,544,016(5,638,869 ▲1.7%)



増減率)

(案)議会の議決を経て、当年度純利益の2,129,418千円を自己資本金に組み入れる。



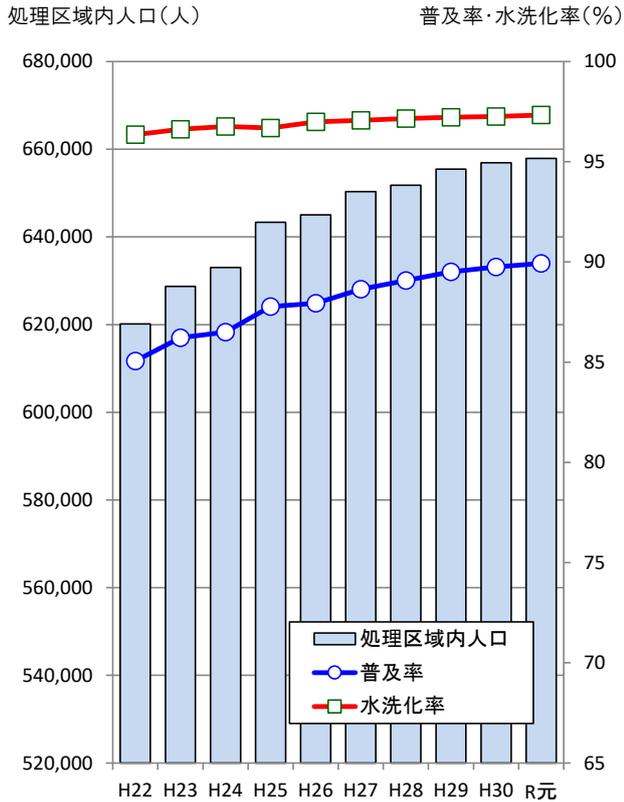
※ 翌年度へ繰り越される支出の財源に充当する収入額(75,460千円)を控除した額

(脚注)  
損益勘定留保資金とは、収益的支出のうち現金の支出を伴わない費用の一部(減価償却費、固定資産除却費など)

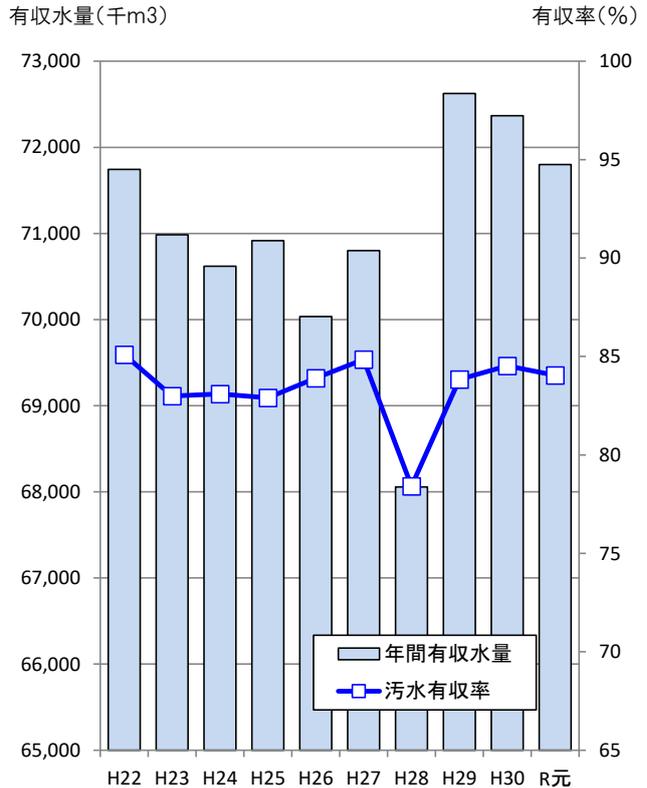
# ■ 下水道事業会計の決算推移

## 1. 事業推移

(1) 処理区域内人口と普及率の推移

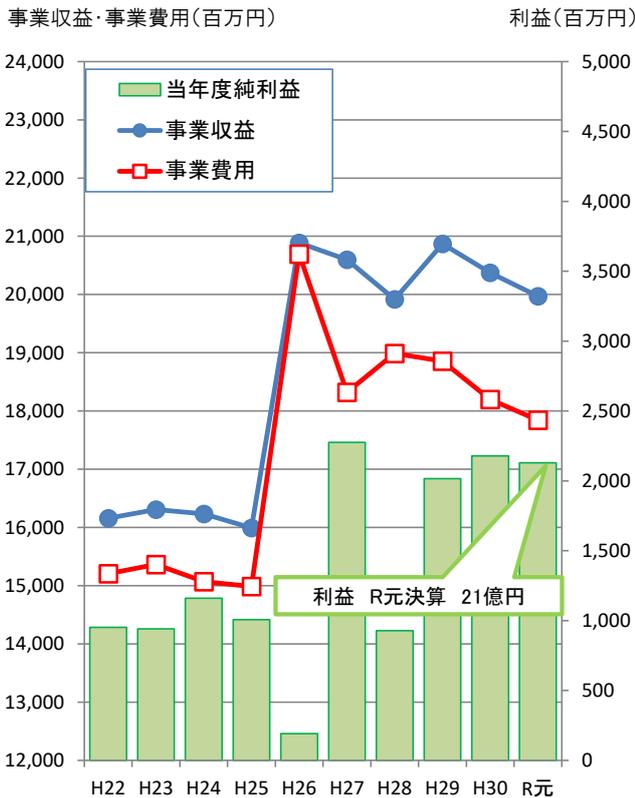


(2) 有収水量・有収率の推移

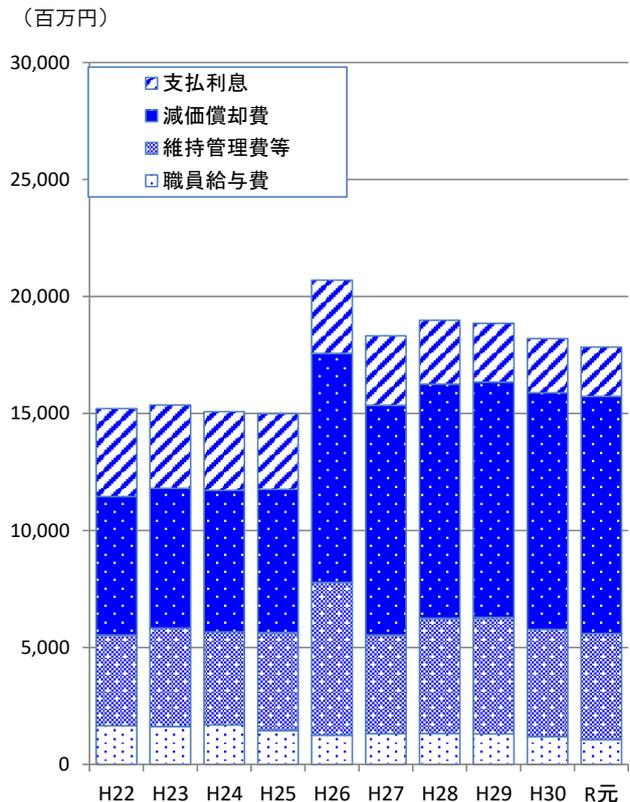


## 2. 事業収益と事業費用の推移

(1) 事業収益と事業費用の推移



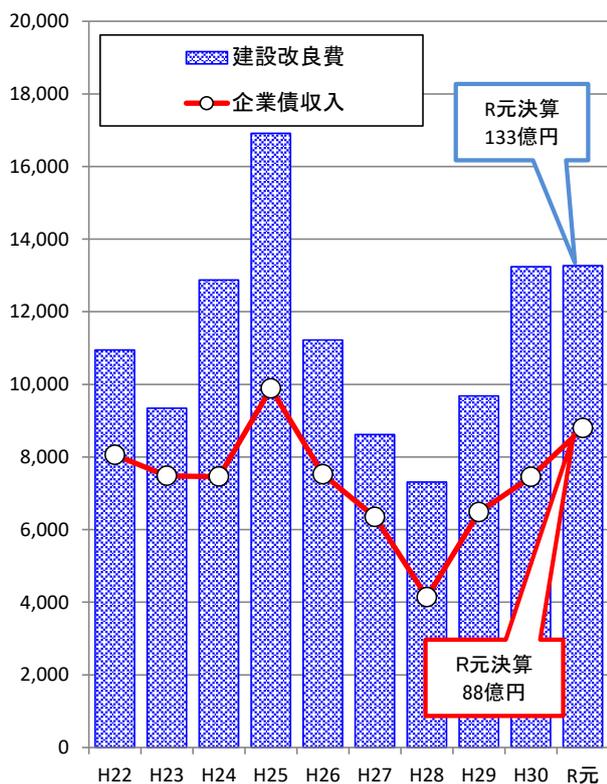
(2) 性質別費目の推移



### 3.建設改良費と企業債の推移

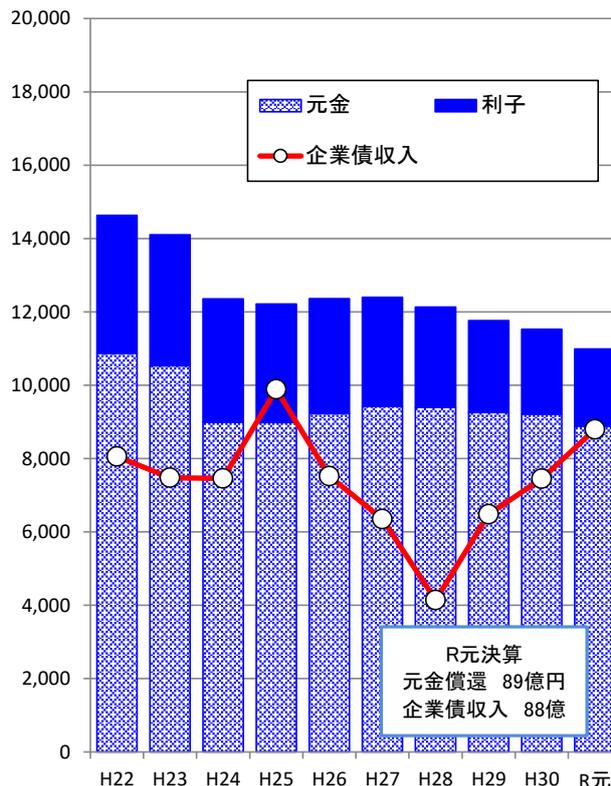
(1)建設改良費と企業債収入

(百万円)



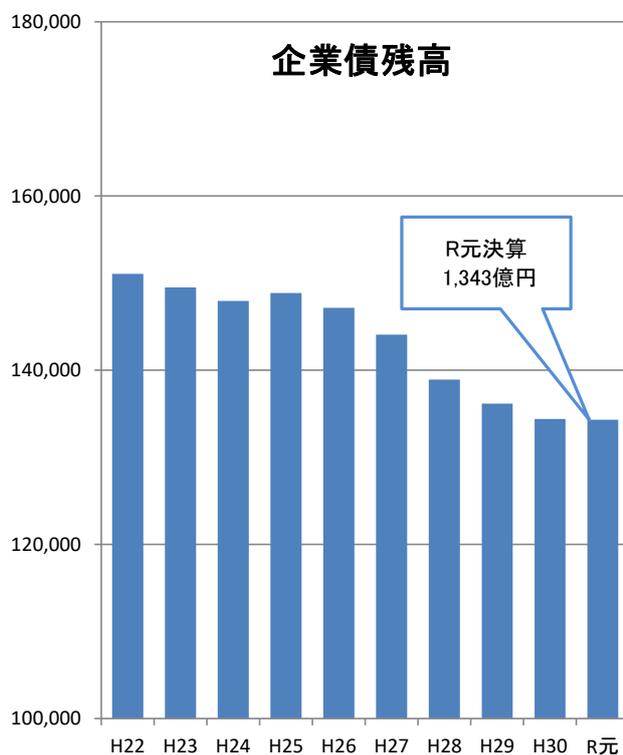
(2)企業債償還の推移

(百万円)



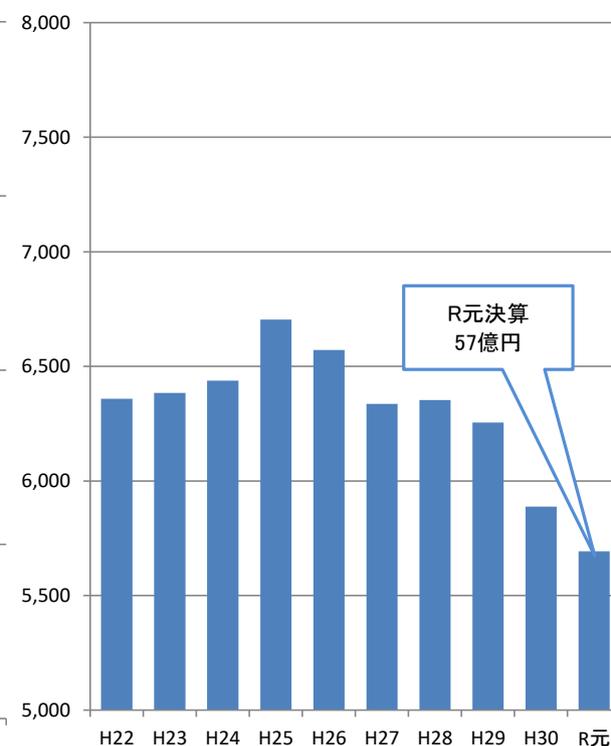
(3)企業債残高の推移

(百万円)



4.一般会計繰入金の推移

(百万円)



令和元年度 下水道事業会計 主要事業

(単位：千円、税込)

				事業費																
<b>未普及解消築造事業</b>				<b>5,727,696</b>																
事業期間	平成24年度～令和3年度	総事業費	約450億円																	
事業目的	未普及地区へ公共下水道施設を整備し、生活環境の改善を図る。																			
事業進捗	令和元年度末普及率89.9%																			
1	熊本地区における管渠等の整備経費	整備面積【123ha】		5,135,265																
2	富合地区における管渠等の整備経費	整備面積【6ha】		333,940																
3	城南地区における管渠等の整備経費	整備面積【5ha】		231,361																
4	植木地区における管渠等の整備経費	整備面積【9ha】		27,130																
<p>&lt;新市基本計画進捗状況 R元年度末&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>計画総額</th> <th>投資額</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>富合</td> <td>4,650,000</td> <td>4,184,544</td> <td>90.0%</td> </tr> <tr> <td>城南</td> <td>5,000,000</td> <td>4,679,855</td> <td>93.6%</td> </tr> <tr> <td>植木</td> <td>5,700,000</td> <td>4,516,722</td> <td>79.2%</td> </tr> </tbody> </table>						計画総額	投資額	進捗率	富合	4,650,000	4,184,544	90.0%	城南	5,000,000	4,679,855	93.6%	植木	5,700,000	4,516,722	79.2%
	計画総額	投資額	進捗率																	
富合	4,650,000	4,184,544	90.0%																	
城南	5,000,000	4,679,855	93.6%																	
植木	5,700,000	4,516,722	79.2%																	
<b>水質保全築造事業</b>				<b>2,366,651</b>																
事業期間	平成24年度～令和3年度	総事業費	約250億円																	
事業目的	施設の効率的な更新を図り放流先の水環境向上を図る。																			
事業進捗	ストックマネジメント計画（R2-R6）→改築更新を順次実施 高度処理施設→H30から工事着手																			
1	処理場施設の改築更新経費			557,186																
2	東部浄化センター水処理施設増設経費			1,190,150																
3	その他			619,315																
<b>資源循環形成築造事業</b>				<b>748,262</b>																
事業期間	平成24年度～令和3年度	総事業費	約108億円																	
事業目的	下水道の処理過程で発生するエネルギーの有効活用を図り、地球温暖化防止に寄与する。																			
事業進捗	ストックマネジメント計画（R2-R6）→改築更新を順次実施 中部A消化槽施設→R元.10月稼動																			
1	汚泥処理施設改築更新経費			610,698																
2	その他			137,564																

浸水対策築造事業				1,268,604
事業期間	平成24年度～令和3年度	総事業費	約137億円	
事業目的	浸水地区（重点6地区浸水対策等）の整備を行い、安心・安全な都市基盤づくりを図る。			
事業進捗	令和元年末までに3地区（加勢川第6、井芹川第9、坪井川第3）を供用開始。			
1	重点6地区浸水対策経費			1,263,355
2	その他			5,249
地震対策築造事業				1,239,909
事業期間	平成24年度～令和3年度	総事業費	約118億円	
事業目的	公共下水道の耐震化及びポンプ場等の長寿命化を図る。			
事業進捗	ストックマネジメント計画（R2-R6）→改築更新を順次実施			
1	下水道管渠長寿命化計画関連経費			421,515
2	下水道総合地震対策関連経費			483,805
3	その他			334,589
震災復旧復興事業				1,461,151
事業期間	平成28年度～令和元年度			
事業目的	熊本地震により被災した管渠、施設の復旧を図る。			
事業進捗	平成28年度から順次実施し、令和元年度未完了			
1	管渠の復旧経費			1,461,151
震災関連経費				375,781
1	熊本地震に伴う資産の除却による資産減耗費			375,206
2	熊本地震に伴う下水道使用料の過年度分減免還付			19
3	災害復旧償還経費			556

## ■令和元年度 工業用水道事業会計決算

### 1. 業務の状況

指標名	単位	定義	令和元年度	平成30年度	増減	伸び率 (%)
1 給水事業所数	社	給水している事業所の数	11	11	0	—
2 年間総配水量	m <sup>3</sup>	配水池から配水管に送り出された水量	38,048	40,883	△ 2,835	△ 6.9
3 年間総有収水量	m <sup>3</sup>	料金収入の対象となった水量	57,310	59,558	△ 2,248	△ 3.8
4 ※有収率	%	年間総有収水量/年間総配水量	150.6	145.7	4.9	—

※基本使用水量に満たない場合でも、基本使用水量分の水道料金を徴収するため、100%を超えている。

### 2. 収益的収支の状況

(単位：千円・税抜き)

科目	年度	令和元年度		平成30年度		増減	
		金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	伸び率 (%)
<b>1 事業収益</b>		<b>5,245</b>	<b>100.0</b>	<b>5,325</b>	<b>100.0</b>	<b>△ 80</b>	<b>△ 1.5</b>
(1) 料金収入		3,055	58.2	3,307	62.1	△ 252	△ 7.6
(2) 長期前受金戻入等		2,190	41.8	2,018	37.9	172	8.5
<b>2 事業費用</b>		<b>4,777</b>	<b>100.0</b>	<b>4,528</b>	<b>100.0</b>	<b>249</b>	<b>5.5</b>
(1) 維持管理費等		2,312	48.4	2,326	51.4	△ 14	△ 0.6
(2) 減価償却費		2,465	51.6	2,202	48.6	263	11.9
<b>3 当年度純利益</b>			<b>468</b>		<b>797</b>		<b>△ 329</b>

### 3. 資本的収支の状況

(単位：千円・税込み)

科目	年度	令和元年度		平成30年度		増減	
		金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	伸び率 (%)
<b>1 資本的収入</b>		<b>0</b>	<b>—</b>	<b>4,222</b>	<b>100.0</b>	<b>△ 4,222</b>	<b>皆減</b>
(1) 補助金		0	—	4,222	100.0	△ 4,222	皆減
<b>2 資本的支出</b>		<b>16</b>	<b>100.0</b>	<b>5,990</b>	<b>100.0</b>	<b>△ 5,974</b>	<b>△ 99.7</b>
(1) 建設改良費		16	100.0	5,990	100.0	△ 5,974	△ 99.7
<b>3 資本的収支</b>			<b>△ 16</b>		<b>△ 1,768</b>		<b>1,752</b>

補てん財源	16	1,768
(1) 消費税資本的収支調整額	1	131
(2) 繰越工事資金	0	922
(3) 損益勘定留保資金	15	715

#### 4. 企業債残高の状況

(単位：千円)

	令和元年度	平成30年度	増減	
企業債残高	1,000	1,000	0	—

### ■ 令和元年度 工業用水道事業会計決算の状況

#### 1 収益的収支の状況 (単位：千円 税抜き) (前年度金額 増減率)

収入総額 5,245 (5,325 ▲1.5%)

58.2%	41.8%
料金収入 3,055 (3,307 ▲7.6%)	長期前受金戻入等 2,190 (2,018 8.5%増)

支出総額 4,777 (4,528 5.5%増)

48.4%	51.6%	当年度純利益
維持管理費等 2,312 (2,326 ▲0.6%)	減価償却費 2,465 (2,202 11.9%増)	468 (797 ▲41.3%)



(案) 議会の議決を経て、当年度純利益の468千円を自己資本金に組み入れる。

#### 2 資本的収支の状況 (単位：千円 税込み) (前年度金額 増減率)

100.0%
補助金 0 (4,222 皆減)



補てん財源 損益勘定留保 資金等 16
------------------------------

100.0%
建設改良費 16 (5,990 ▲99.7%)

#### 3 その他 (単位：千円) (前年度金額 増減率)

企業債残高 1,000 (1,000)